

今回私がコタンとして関わった子どもは、自分でるーもを探して電話をかけてくれた子で、るーもとしても初めてのケースでした。

彼女によれば、学校や家での息苦しい思いがあり、これまでいろんな機関や人に相談してきたが、どうしようもできないまま精神的に追い込まれてしまい、最後の賭けというような気持ちでるーもに電話をしたということでした。

これまでるーもで受け入れてきた子どもたちは、児童相談所や女性相談所を経由して入居していくというパターンでした。家庭的な雰囲気で心身を休めてももらうというシェルターの趣旨からして、児相などからのルートが確保されることはとても重要なことですし、このパターンが今後も大部分を占めるでしょう。ただ、子どもの緊急避難場所を確保したいという想いからるーも設立に関わった私にとっては、子どもからの直接の連絡をきっかけに子どもを受け入れ、休んでもらい、環境調整の結果退所にこぎつけることができたという今回のケースは、また違った感慨を持ちますし、るーもをやってきて良かったなと思えるものになりました。

もちろん、るーも単独で今回のケースに対応できたわけではなく、和歌山児相の迅速かつ適切なご協力があったからこそスムーズな受け入れ、そして退去へと進めることができました。厚くお礼申し上げます。

理事：土井智也

ご支援のお願い

子どもシェルターへの公費援助はまだまだ不十分で、財政基盤はとても脆弱です。
ぜひ、子どもたちのために、正会員、賛助会員、法人賛助会員として、私たちの取り組みを支えてください。

衣類と生活用品のご寄付を募集しております。

新品のみ 下着、靴下、パジャマ、タオル、タオルケット、シーツ

洗濯済み 毛布、ズボン、ジーンズ、Tシャツ、ポロシャツ、Yシャツ、トレーナーセーター、ブラウス、カーディガン、ジャンパー、オーバーコート



ご支援の方法

正会員・賛助会員になって、子どもたちと一緒に支えて下さい。

ご寄付をお願いします。金額は問いません。

お寄せいただいたご寄付は、子どもたちのために活かされます。

ボランティアとして参加をお願いします。
シェルターにはたくさんの人の力が必要です。

「子どもセンターるーも」の研修、イベント活動、広報活動など、
可能な形でご参加ください。

会員・寄付	正会員／入会金 5,000円 年会費 5,000円 賛助会員／個人1口 3,000円（年間） 法人1口 10,000円（年間）
振込先	銀行名／きのくに信用金庫 本店営業部 口座番号／2629421 口座名義人／NPO法人子どもセンターるーも
	銀行名／ゆうちょ銀行 口座番号／14730-16476891 口座名義人／特定非営利活動法人子どもセンターるーも トクヒコモセンタールーム



News Letter

7

NO.7
発行日／2017年10月吉日

寄り添い共に歩む

生後数ヶ月の乳児が親からの虐待で傷ついたり、子どもへの虐待や性被害、いじめなどの心痛む出来事が報じられています。

一年前に子どもシェルターの存在を知り、月に数回ボランティアとして子どもたちのサポートに関わらせてもらうようになりました。そこで、様々な事情を抱えた子ども一人一人に寄り添い共に歩むスタッフのご苦労を目の当たりにしました。そして、ここで子どもが安心した生活を送り、次のステップに進めるように支援するスタッフの一員として協力させてもらうことになりました。

料理に興味がありスタッフと一緒に食事作りを楽しむ子、イラストを描くのが得意な子、ひたすら読書をしている子、など個々様々な過ごし方があります。

日常的に運動をするスペースがないので、月に数回、関連施設の体育館に行ってバトミントンなどの運動をすることを楽しみにしている子もいます。なかなか次のステップが決まらずここでの生活が長引いてくることがあります。そうすると、不安といら立ちが募り、日課が乱れ昼夜逆転した生活になってきたり言葉使いが悪くなったり反対に何も話さなくなったりします。そんな時、どのように関わればよいのか戸惑い、対応したものの中で良かったのかと悩むことが多く寄り添うことの難しさを痛感しました。

スタッフ会議では、子どもの様子や対応の仕方をその時の子どもの行動や子どもとのやり取りを具体的に話して、他のスタッフの体験談や意見・考えを聞かせてもらうことで今後の対応の参考にさせてもらっています。

また、スタッフは共通認識の下、子どもの対応に当たるなどスタッフ間のコミュニケーションが悩みを軽減してくれます。

夢を持ち生き生きと生活できる居場所に早く飛び立てることを願い、各々に合った支援ができるよう励みます。



平成28年度ボランティア養成講座を開催

今年で4回目を迎える『ボランティア養成講座』を開催いたしました。

今回は、平成29年2月4日（土）、2月25日（土）の両日で開催し、多くの方が受講していただきました。

受講者の方々は多方面で積極的に活動している方々が多く、熱心に聴講いただきました。

また、多くの方々にボランティアとして登録していただきました。

今後、『るーも』でのボランティアとしての活動を期待しています。

今年度も開催する予定にしておりますので、ぜひご参加ください。

理事：永井真理子



平成28年度ボランティア養成講座の概要

講 座	開 催 日	講 座 テ イ マ	講 師
1	2月4日	子どもシェルターの役割と必要性	NPO 法人子どもセンターるーも 副理事長 桑原 義登 氏
2	2月4日	思春期の子どもの理解と対応	カウンセリングルーム Offhce.k 代表 臨床心理士 木下 忠恭 氏
3	2月25日	様々な問題行動をとる子どもへのプログラムを用いた支援	児童心理治療施設あゆみの丘 児童指導員 黒田 由幸 氏
4	2月25日	性暴力被害者の支援について	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 女性相談課 主任 奥田 美和子 氏
5	2月25日	「NPO 法人子どもセンターるーも」 スタッフと受講者による座談会	NPO 法人子どもセンターるーも スタッフ、ボランティアスタッフ

平成29年度通常総会開催のご報告

平成29年5月18日（水）午後 7時より、県民交流プラザ和歌山ビッグ愛にて、平成29年度通常総会を次のとおり開催いたしました。

決議事項

第1号議案 理事追加選任

審議の結果、今年度から衣斐哲臣さんに新しく理事に加わっていただくことになりました。衣斐さんは、下記プロフィールの通り、臨床心理士の資格をもち、長年児童福祉分野に携わってこられました。このような知識、経験ともに豊富な方に加わっていただけたことを大変心強く思います。

衣斐さんプロフィール

1980年4月から15年間、国保日高総合病院に臨床心理士として勤務。

1995年から2015年3月まで児童相談所に勤務。紀南児童相談所次長として勤務した後、2015年4月から和歌山大学教職大学院教授に就任し、現在に至る。

専門は臨床心理学、児童福祉。現在は、教育と児童福祉の連携・協働を図る立場で、教員養成ならびに現職教員の学校マネジメントコースを担当している。

報告事項

第2号議案 平成28年度事業報告及び活動決算報告

平成28年度の事業報告及び活動決算について報告を行いました。

平成28年度は、子どもシェルターるーもに12名の子どもがやってきました。子どもシェルターるーもがスタートした平成25年10月から数えると、延べ44名（平成29年3月末日現在）の子どもたちを受け入れ、次の居場所に送り出しています。

子どもたちの支援に当たっては、直接子どもたちの生活を支援するスタッフ、ボランティアさんをはじめ、関係機関とも連携し、大人たちが一丸となって子どもに寄り添い、歩んできました。

また、例年通り、ボランティア養成講座を開催し、子どもシェルターの役割や子どもに対する支援などを学んでいただきました。ボランティアスタッフさんの募集・養成を行ないました。毎年開催していますが、平成28年度もたくさんの方がご参加くださいました。

第3号議案 平成29年度事業計画及び予算案の報告

平成29年度の事業計画及び予算案について報告を行いました。

引き続き今年度も、子どもシェルターを必要とする子どもたちのために、子どもシェルターるーもを運営し、研修や講座等を行なっていきます。

また、これまでシンポジウムやボランティア養成講座等で大人の方にはるーものこを少しずつ知っていますが、子どもたちへの働きかけはまだまだ不十分です。そこで、今年度は、特に子どもたちへの広報に力を入れ、子どもシェルターの存在を知ってもらうこと、しんどいときに SOS を出してもらえるようにすることを目指して、広報活動に取り組もうと話し合いました。

以上の通り総会を開催しました。

平成29年10月で子どもシェルターるーもは4年目を迎えました。これもひとえに、周囲の方々からの温かいご支援によるものと心より感謝申し上げます。

これからも子どもセンターるーもは、子どもの最善の利益のため、支援の輪を広げながら努力していきます。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。